

マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る 2050 年～は、
ニューヨークブルックリンの 5 年生たちが
世界的に大きなプラスチック汚染問題の根っこが
何かを彼らの視点で問いただし、解決に向かって
自分たちの地域からアクションを広げて行くまでの
2 年を追った長編ドキュメンタリーです。



story

ブルックリンのレッドフック地区にある PS15 の 5 年生は、自分たちでリサーチやデータ収集を重ね、それを市議会で公表し、自分たちの住む地域で使い捨てプラスチックを減らす活動を重ねていきます。そしてプラスチックはごみになってからだけでなく、生産の過程でも地球環境を汚染していること、そしてそれが気候変動に関わっていることを発見し、自分たちの学校のカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク市全体に広げていきます。

映画では子ども達の素朴な疑問に専門家が答えて行き、アニメーションをふんだんに使って、このプラスチック汚染問題をわかりやすく解き明かしていきます。子ども達のまっすぐな熱意から希望が滲み出るマイクロプラスチック・ストーリーは、世界 44 の映画祭に選ばれ 8 つの賞を受賞しています。



四国中央ユネスコ協会からのメッセージ

四国中央ユネスコ協会は、全国に約 260 ある民間のユネスコ協会の一つです。国連教育科学文化機関 (UNESCO) のユネスコ憲章に賛同し、持続可能な世界を目指して身近なところから活動を広げています。UNESCO の頭文字「United Nations of Educational, Scientific and Cultural Organization」教育と科学、文化がその取り組みの基本です。例えば科学分野では、私たちが多様な動物と共生する生活圈、海の環境、そして水資源の課題に世界規模で取り組んでいます。科学的な取組みの大切さの一つに、客観的にものを見る目を養えることがあります。感情やイデオロギーが優先された、先の大戦への反省です。そして、世界の分断が進む現在にも良い教訓としたいものです。

四国中央市には海辺があります。たくさんのプラスチックごみが打ち寄せられ、太陽に照らされて干からび、粉々になって再び海中や土の中に紛れ込んでいきます。これが人体に、自然にどんな影響を与えていくのか…。この映画は、お子さんも楽しめるように日本語吹き替えでご覧いただけます。持続可能な世界の自然環境について、ご家族で考えてみませんか？

プラスチック汚染問題にニューヨークの小学生が立ち上がる！

マイクロプラスチック・ストーリー

ぼくらが作る 2050 年

2025 年 7 月 5 日 (土)

しこちゅ～ホール 小ホール
(四国中央市市民文化ホール) ～かるた～

【開場】17:00 ~ (参加自由)
【上映会】18:00 ~ / 意見交換会 19:30 ~